

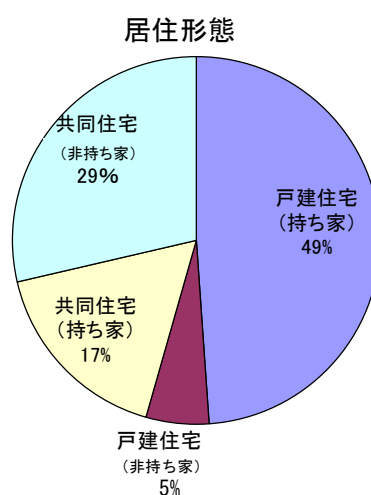
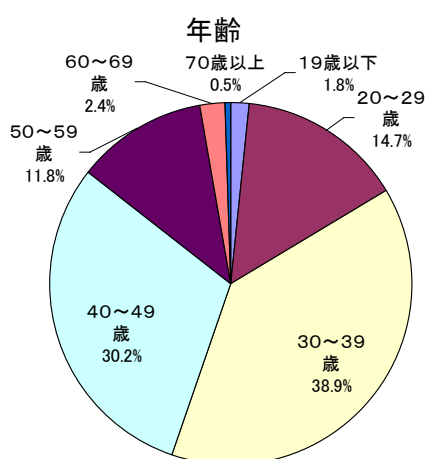
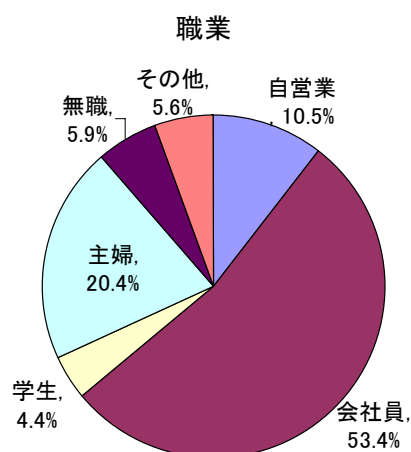
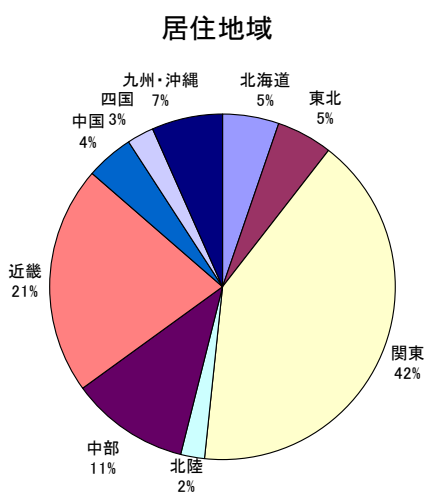
(23) 地域住民の景観形成に対する潜在意識の把握のためのアンケート調査

web アンケートの結果

国民一般の景観形成にかかわる意識を把握するため、web アンケートを実施した。以下にその結果を示す。

1) アンケートの配布・回収

○ 有効回答数は 2000 サンプル。回答者の内訳は以下の通りとなっている。



性別

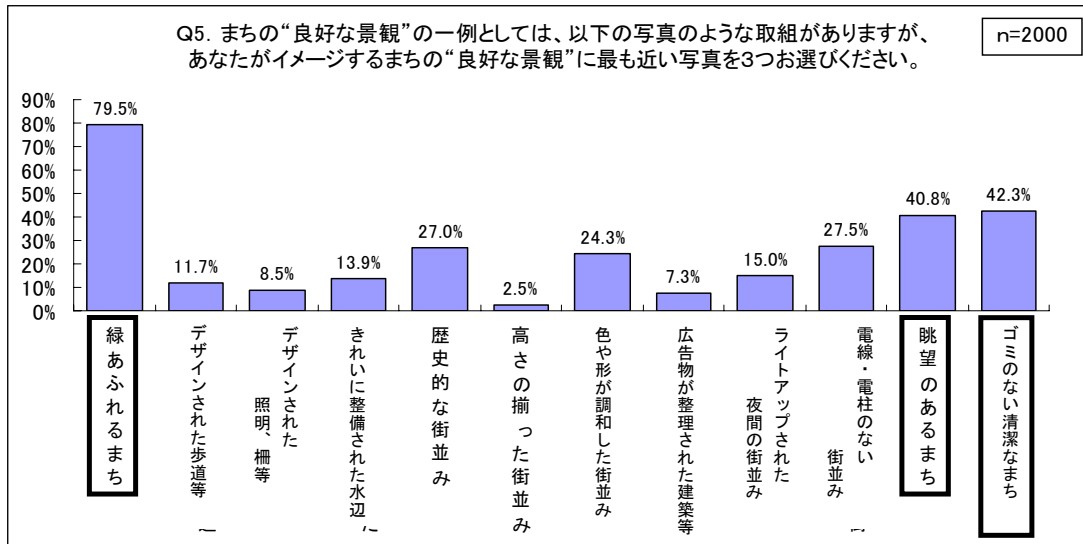
男	女
1,110	890
55.5%	44.5%

2) アンケート結果

■ 景観について

- 「景観」という言葉は約9割の人が知っており、概念は広く周知されている。
- 「よい景観」とは、「歴史」、「デザイン」、「色彩」などよりも「緑」、「清潔」、「眺望」のある景観というイメージが持たれている。

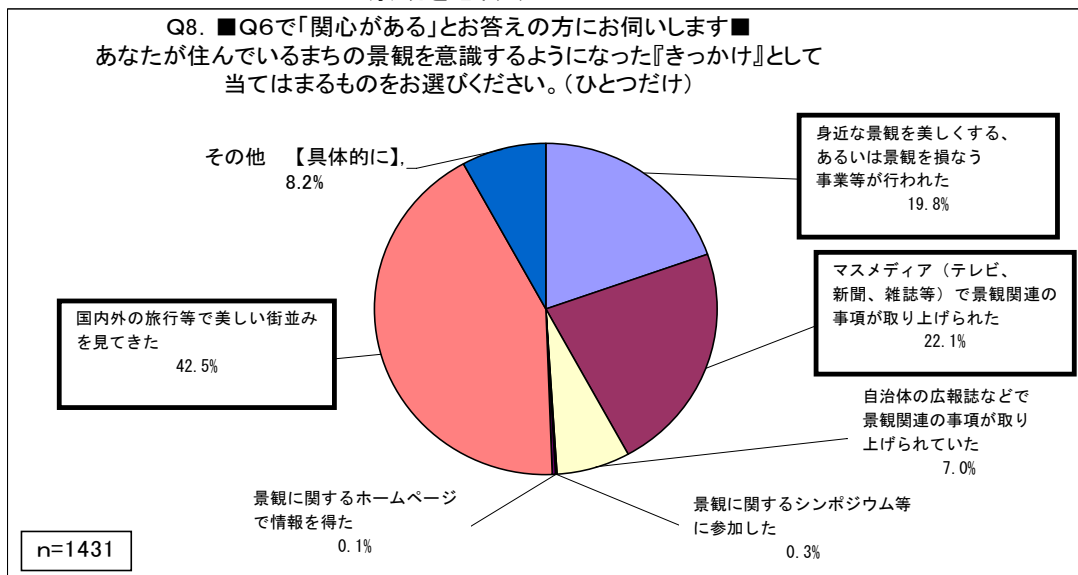
Q よい景観とは？



■ 景観への関心

- 約7割の人が景観に関心を持っている。
- 関心のない理由は、生活するうえで問題にならない、他に重要な課題（安全、利便性）があるなど。
- 景観に関心を持つきっかけは、旅先で美しい街並みを見た、身近で景観が改変されたなど、実際に体感することが6割を占める。

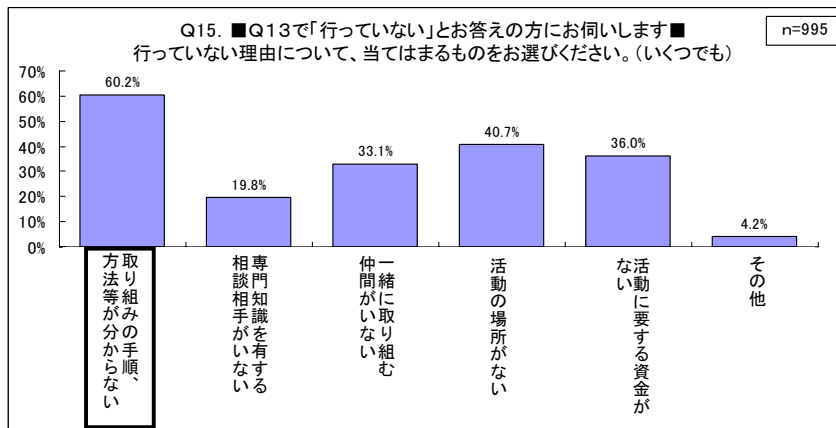
Q 景観を意識するきっかけは？



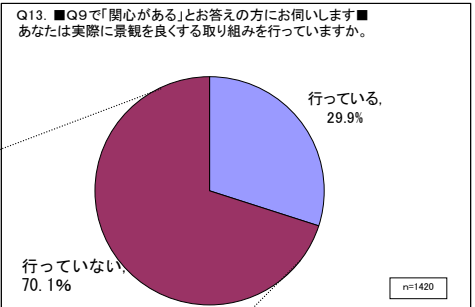
■ 景観を良くする取り組み

- 景観を良くする取り組みに関心のある人は7割。しかし実際に取り組みを行っている人はそのうちの3割に留まる。
- 取り組みに参加していない理由は、手順・方法がわからない点が多い。

Q 景観を良くする取り組みを行っていない理由は？



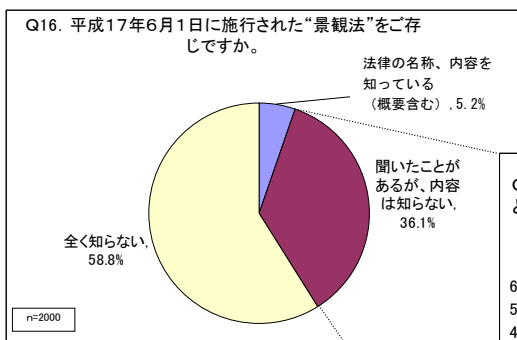
Q 実際に取り組みを行っていますか？



■ 景観法について

- 景観法の認知度は名称だけ知っている人を含め、約4割となっている。
- 情報源としては、自治体広報誌が半数を占め、新聞、テレビと続き、シンポジウムなどの割合は低い。

Q 景観法をご存知ですか？



Q 景観法を何で知りましたか？

